

淀川河川公園下流域 地区会議会議録

1. 庭窪河畔・八雲・八雲野草・守口・外島・太子橋地区
2. 豊里地区
3. 城北河畔・赤川・毛馬・長柄河畔・長柄地区
4. 西中島・十三野草地区
5. 大淀野草・海老江地区

平成 23 年度

淀川河川公園 庭窪河畔・八雲・八雲野草・守口・外島・太子橋地区 地区会議 会議録

平成 23 年 11 月 19 日開催分

■地区会議とは

1. 目的

淀川河川公園の地区毎に、各公園地区の利用団体、地域住民、まちづくり団体など、様々な関係者の方々よりご意見を伺い、今後の公園の整備・維持管理に反映するため、淀川河川公園地区会議を開催しました。

2. 経緯

淀川河川公園では、淀川における自然環境や人との関わりを次世代に引き継ぐための公園づくりを目指し、「淀川河川公園基本計画」を平成 20 年に改定しました。

今後の公園づくりでは、地域に親しまれ、淀川と人とのつながりをより深めるため、地域住民、利用者、学識経験者、沿川自治体など様々な関係者が参加する「淀川河川公園地域協議会」を平成 22 年 3 月よりブロック毎に設置し、公園計画、整備及び管理の検討を進めています。

このたび、大阪府守口市域(庭窪河畔・八雲・八雲野草・守口・外島地区)及び大阪市域に位置する淀川河川公園及びその予定区域を対象とした淀川河川公園下流域地域協議会において、各公園地区に関する、より地域に密着したご意見を伺うため、「淀川河川公園地区会議」の開催を決定し、多様な主体に参加していただくためのメンバー候補を選定しました。

■庭窪河畔・八雲・八雲野草・守口・外島・太子橋地区 地区会議の開催概要

淀川河川公園庭窪河畔・八雲・八雲野草・守口・外島・太子橋地区において平成 23 年 11 月 19 日に地区会議を開催しました。当日は 15 名の利用団体、地域住民等の方々にご参加いただきました。

開催日時:平成 23 年 11 月 19 日(土) 13:30~16:30 場所:守口サービスセンター

プログラム

1. 開会

- ・地区会議の目的と進め方
- ・淀川河川公園基本計画の概要

2. 公園歩き

3. 意見交換

- ・グループ別意見交換
- ・各グループからの発表

4. 今後の予定等

5. 閉会



八雲遺跡
下島公園に説明板があります

八雲遺跡は、淀川左岸に発見された縄文時代から中世にわたる大複合遺跡で、昭和 46 年(1971)の高水敷工事の際、多量の遺物が出土しました。出土品は縄文時代晩期の師楽(しらく)式製塩土器、奈良時代の人面墨描土器、近世のくらわんか茶碗など、さまざまな時代の多数の遺物でした。

また、昭和 62 年(1987)には、付近の住宅改築に伴い発掘調査が行われ、地表下約 2m から弥生時代中期の 2 軒の竪穴式住居跡や堀立柱建設跡が発見されました。その中から、石ノミや細石核、細石刃などが多量に出土し、農業の他に管玉の製作や玉作り工具の製作が行われていたことがわかりました。

出土した石器の石材は、八雲遺跡周辺では調達できないものが多く、淀川を利用して河川交易が盛んだったことを物語っています。

(出典:「淀川かわあるき」)

庭窪河畔・八雲・八雲野草・守口・外島・太子橋地区の概要

◆開設年度		◆供用面積	
庭窪河畔地区	平成 10 年度	庭窪河畔地区	0.7ha
八雲地区	昭和 48 年度	八雲地区	3.9ha
八雲野草地区	昭和 49 年度	八雲野草地区	5.1ha
守口地区	昭和 62 年度	守口地区	1.8ha
外島地区	昭和 48 年度	外島地区	2.6ha
太子橋地区	昭和 51 年度	太子橋地区	10.3ha
◆年間利用者数	平成 22 年度年間利用者数		
庭窪河畔地区	8,252 人	守口地区	6,587 人
八雲地区	137,363 人	外島地区	87,885 人
八雲野草地区	54,429 人	太子橋地区	245,111 人

■ 地区会議の参加団体

利用団体等	団体名	
	地域住民	自治体
守口市ソフトボール協会 守口市北部公民館 八雲地区運営委員会 淀川水系イタセンバラ研究会 淀川管内河川レンジャー 守口市社会福祉協議会 守口市青少年指導員連絡協議会 下島町会テニス同好会	守口市 北十番連合町会 メイプルパーク・スクエア自治会 大阪市旭区地域振興会 太子橋連合第五振興町会 下島町会	大阪市ゆとりとみどり振興局 緑化推進部 計画課 守口市都市整備部 公園課

■ 地区会議の流れ

1
基本的情報の説明



4
各グループからの意見発表



■ 地区会議で出された意見について

庭窪河畔・八雲・八雲野草・守口・外島・太子橋地区 地区会議では参加者の皆様から多くのご意見をいただきました。すべてのご意見について事務局で対応を検討し、次回の下流域地域協議会に報告します。



Aグループの意見交換の結果



Bグループの意見交換の結果



Cグループの意見交換の結果

【お問い合わせ先】

近畿地方整備局 淀川河川事務所 河川公園課
 〒573-1191 大阪府枚方市新町2丁目2番10号
 TEL:072-843-2861(代) FAX:072-843-0910 E-mail: yodogawa-kouen@kkr.mlit.go.jp

平成23年度 淀川河川公園 下流域地域協議会

庭窪河畔・八雲・八雲野草・守口・外島・太子橋地区 地区会議 平成23年11月19日開催分

平成 23 年度

淀川河川公園 豊里地区 地区会議 会議録

平成 23 年 12 月 9 日開催分

■地区会議とは

1. 目的

淀川河川公園の地区毎に、各公園地区の利用団体、地域住民、まちづくり団体など、様々な関係者の方々よりご意見を伺い、今後の公園の整備・維持管理に反映するため、淀川河川公園地区会議を開催しました。

2. 経緯

淀川河川公園では、淀川における自然環境や人との関わりを次世代に引き継ぐための公園づくりを目指し、「淀川河川公園基本計画」を平成 20 年に改定しました。

今後の公園づくりでは、地域に親しまれ、淀川と人とのつながりをより深めるため、地域住民、利用者、学識経験者、沿川自治体など様々な関係者が参加する「淀川河川公園地域協議会」を平成 22 年 3 月よりブロック毎に設置し、公園計画、整備及び管理の検討を進めています。

このたび、大阪府守口市域(庭窪河畔・八雲・八雲野草・守口・外島地区)及び大阪市域に位置する淀川河川公園及びその予定区域を対象とした淀川河川公園下流域地域協議会において、各公園地区に関する、より地域に密着したご意見を伺うため、「淀川河川公園地区会議」の開催を決定し、多様な主体に参加していただくためのメンバー候補を選定しました。

■豊里地区 地区会議の開催概要

淀川河川公園豊里地区において平成 23 年 12 月 9 日に地区会議を開催しました。

当日は 9 名の利用団体、地域住民等の方々にご参加いただきました。

開催日時:平成 23 年 12 月 9 日(金) 13:30~16:30 場所:市民活動プラザおおさか東館 集会室 201

プログラム

1. 開会

- ・地区会議の目的と進め方
- ・淀川河川公園基本計画の概要

2. 公園歩き

3. 意見交換

- ・グループ別意見交換
- ・各グループからの発表

4. 今後の予定等

5. 閉会



豊里地区の概要

◆開設年度

昭和 50 年度

◆供用面積

4.1ha

◆主な公園施設

- ・テニスコート(4面)
- ・更衣室
- ・芝生広場
- ・駐車場(72 台)

◆年間利用者数

平成 22 年度年間利用者数

豊里地区 128,362 人

テニスコート 8,220 人

(※運動施設は内数)

平田(へいた)の渡し跡

300 年間続いた渡し

かつて、淀川右岸の豊里と左岸の太子橋を結ぶ渡船場がありました。延宝 4 年(1476)頃から開かれ、住民の主要な交通手段として、淀川を渡し船が往来していました。昭和 45 年(1970)に豊里大橋が開通するまで、約 300 年間渡しは続きました。石碑に刻まれている「平太」は明治 40 年(1907)以前に経営していた渡し守の名前ですが、一般的には地名である「平田」の方で呼ばれています。

(出典:「淀川かわあるき」)

■ 地区会議の参加団体

団体名		
利用団体等	地域住民	自治体
淀川水系イタセンバラ研究会 東淀中学校PTA 淀川管内河川レンジャー	大桐連合振興町会 豊新社会福祉協議会 大桐連合振興町会 第1振興町会 大隈地域住民 下新庄地域振興会	大阪市ゆとりとみどり振興局 緑化推進部計画課

■ 地区会議の流れ

1 基本的情報 の説明



4 各グループ からの 意見発表

■ 地区会議で出された意見について

豊里地区 地区会議では参加者の皆様から多くのご意見をいただきました。
すべてのご意見について事務局で対応を検討し、次回の下流域地域協議会に報告します。



Aグループの意見交換の結果



Bグループの意見交換の結果

【お問い合わせ先】

近畿地方整備局 淀川河川事務所 河川公園課
〒573-1191 大阪府枚方市新町2丁目2番10号
TEL:072-843-2861(代) FAX:072-843-0910 E-mail: yodogawa-kouen@kkr.mlit.go.jp

平成23年度 淀川河川公園 下流域地域協議会

豊里地区 地区会議 平成23年12月9日開催

平成 23 年度

淀川河川公園 城北河畔・赤川・毛馬・長柄河畔・長柄地区 地区会議 会議録

平成 23 年 12 月 7 日開催分

■地区会議とは

1. 目的

淀川河川公園の地区毎に、各公園地区の利用団体、地域住民、まちづくり団体など、様々な関係者の方々よりご意見を伺い、今後の公園の整備・維持管理に反映するため、淀川河川公園地区会議を開催しました。

2. 経緯

淀川河川公園では、淀川における自然環境や人との関わりを次世代に引き継ぐための公園づくりを目指し、「淀川河川公園基本計画」を平成 20 年に改定しました。

今後の公園づくりでは、地域に親しまれ、淀川と人とのつながりをより深めるため、地域住民、利用者、学識経験者、沿川自治体など様々な関係者が参加する「淀川河川公園地域協議会」を平成 22 年 3 月よりブロック毎に設置し、公園計画、整備及び管理の検討を進めています。

このたび、大阪府守口市域(庭窪河畔・八雲・八雲野草・守口・外島地区)及び大阪市に位置する淀川河川公園及びその予定区域を対象とした淀川河川公園下流域地域協議会において、各公園地区に関する、より地域に密着したご意見を伺うため、「淀川河川公園地区会議」の開催を決定し、多様な主体に参加していただくためのメンバー候補を選定しました。

■城北河畔・赤川・毛馬・長柄河畔・長柄地区 地区会議の開催概要

淀川河川公園城北河畔・赤川・毛馬・長柄河畔・長柄地区において平成 23 年 12 月 7 日に地区会議を開催しました。当日は 17 名の利用団体、地域住民等の方々にご参加いただきました。

開催日時:平成 23 年 12 月 7 日(水) 13:30~16:30 場 所:大東福祉会館

プログラム

- 開会
 - 地区会議の目的と進め方
 - 淀川河川公園基本計画の概要
- 公園歩き
- 意見交換
 - グループ別意見交換
 - 各グループからの発表
- 今後の予定等
- 閉会



毛馬の排水機場と閘門
甲子園を 30 分で満水にする

台風による高潮に備えて防潮水門を閉鎖すると、河川からの流出や市街地からの排水によって河道の水位が上昇し、浸水氾濫が起こる恐れがあります。そこで、内水を排除する施設として

毛馬排水機場が建設されました。この排水機場のポンプ能力は、甲子園球場なら 30 分で満杯にすることができます。

毛馬閘門は淀川一大川間の水位を調節し、船の運航を可能にする事を目的としています。明治 43 年(1910)に完成した新淀川開削工事とともに、オランダ人技師デ・レーケの考えのもと当時の最先端技術を駆使して毛馬閘門と毛馬洗堰を設置しました。この設計は工事約 100 年後の今も日本における近代治水工事のさきがけと語り継がれています。

(出典:「淀川かわあるき」)

城北河畔・赤川・毛馬・長柄河畔・長柄地区の概要

◆開設年度		◆供用面積	
城北河畔地区	平成 4 年度	城北河畔地区	0.9ha
赤川地区	昭和 57 年度	赤川地区	3.1ha
毛馬地区	昭和 51 年度	毛馬地区	6.2ha
長柄河畔地区	昭和 63 年度	長柄河畔地区	1.1ha
長柄地区	昭和 61 年度	長柄地区	2.2ha
◆年間利用者数			
平成 22 年度年間利用者数		毛馬地区	231,799 人
城北河畔地区	67,796 人	長柄河畔地区	25,998 人
赤川地区	260,908 人	長柄地区	29,892 人

■ 地区会議の参加団体

団体名	
利用団体等	地域住民
淀川水系イタセンバラ研究会 大阪工業大学 城北水辺クラブ 大阪市立桜宮高等学校 淀川管内河川レンジャー 日本野鳥の会 大阪支部 豊仁社会福祉協議会	友漕連合振興町会 大阪市旭区住民 大阪市都島区地域振興会 淀川連合振興町会 大東連合振興町会 豊仁連合振興町会

■ 地区会議の流れ

1 基本的情報 の説明



4 各グループ からの 意見発表

■ 地区会議で出された意見について

城北河畔・赤川・毛馬・長柄河畔・長柄地区 地区会議では参加者の皆様から多くのご意見をいただきました。すべてのご意見について事務局で対応を検討し、次回の下流域地域協議会に報告します。



Aグループの意見交換の結果



Bグループの意見交換の結果



Cグループの意見交換の結果

【お問い合わせ先】

近畿地方整備局 淀川河川事務所 河川公園課
〒573-1191 大阪府枚方市新町2丁目2番10号
TEL:072-843-2861(代) FAX:072-843-0910 E-mail: yodogawa-kouen@kkr.mlit.go.jp

平成23年度 淀川河川公園 下流域地域協議会

城北河畔・赤川・毛馬・長柄河畔・長柄地区 地区会議 平成23年12月7日開催分

平成 23 年度

淀川河川公園 西中島・十三野草地区 地区会議 会議録

平成 23 年 12 月 13 日開催分

■地区会議とは

1. 目的

淀川河川公園の地区毎に、各公園地区の利用団体、地域住民、まちづくり団体など、様々な関係者の方々よりご意見を伺い、今後の公園の整備・維持管理に反映するため、淀川河川公園地区会議を開催しました。

2. 経緯

淀川河川公園では、淀川における自然環境や人との関わりを次世代に引き継ぐための公園づくりを目指し、「淀川河川公園基本計画」を平成 20 年に改定しました。

今後の公園づくりでは、地域に親しまれ、淀川と人とのつながりをより深めるため、地域住民、利用者、学識経験者、沿川自治体など様々な関係者が参加する「淀川河川公園地域協議会」を平成 22 年 3 月よりブロック毎に設置し、公園計画、整備及び管理の検討を進めています。

このたび、大阪府守口市域(庭窪河畔・八雲・八雲野草・守口・外島地区)及び大阪市域に位置する淀川河川公園及びその予定区域を対象とした淀川河川公園下流域地域協議会において、各公園地区に関する、より地域に密着したご意見を伺うため、「淀川河川公園地区会議」の開催を決定し、多様な主体に参加していただくためのメンバー候補を選定しました。

■西中島・十三野草地区 地区会議の開催概要

淀川河川公園西中島・十三野草地区において平成 23 年 12 月 13 日に地区会議を開催しました。当日は 12 名の利用団体、地域住民等の方々にご参加いただきました。

開催日時:平成 23 年 12 月 13 日(火) 13:30~16:30 場所:市民活動プラザおおさか東館 集会室 202

プログラム

1. 開会

- ・地区会議の目的と進め方
- ・淀川河川公園基本計画の概要

2. 公園歩き

3. 意見交換

- ・グループ別意見交換
- ・各グループからの発表

4. 今後の予定等

5. 閉会



淀川改修碑
沖野忠雄の功績を讃える碑

淀川は古代から洪水が多い河川でした。洪水は幾多の人命を奪い、沿川住民の暮らしに多大な被害を与えました。明治 18 年(1885)、明治 22 年(1889)の大洪水が契機となってわが国に河川法が制定され、巨費を投じて淀川改良工事が施工されることとなりました。淀川改良工事は内務省土木局技師の沖野忠雄が中心となって明治 29 年(1896)に着工、明治 43 年(1910)に完成しました。かつての中津村を偲ぶように中津村淀川区新北野 2 丁目の円稱寺(えんしょうじ)には「淀川改修中津村旧址記念碑」という文字が石碑に刻まれています。

明治 18 年(1885)、明治 22 年(1889)の大洪水が契機となってわが国に河川法が制定され、巨費を投じて淀川改良工事が施工されることとなりました。淀川改良工事は内務省土木局技師の沖野忠雄が中心となって明治 29 年(1896)に着工、明治 43 年(1910)に完成しました。かつての中津村を偲ぶように中津村淀川区新北野 2 丁目の円稱寺(えんしょうじ)には「淀川改修中津村旧址記念碑」という文字が石碑に刻まれています。

(出典:「淀川かわあるき」)

西中島・十三野草地区の概要

◆開設年度

西中島地区 昭和 53 年度
十三野草地区 昭和 52 年度

◆供用面積

西中島地区 6.7ha
十三野草地区 4.6ha

◆主な公園施設

- 西中島地区
- ・野球場(3面)
- ・芝生広場
- ・駐車場(130 台)

◆年間利用者数

平成 22 年度年間利用者数
西中島地区 475,496 人
野球場 36,663 人
(※運動施設は内数)
十三野草地区 105,084 人

■ 地区会議の参加団体

利用団体等	団体名	
	地域住民	自治体
日本野鳥の会 大阪支部 NPO 法人自然と緑 淀川管内河川レンジャー 淀川自然観察会 淀川リトル リトルシニア野球 淀川区校長会 淀川区スポーツ推進委員協議会	淀川区未来わがまちビジョン推進委員会 大阪市都島区住民 大阪市淀川区地域振興会 木川連合振興町会 淀口連合町会 西中島連合	大阪市淀川区役所 区民企画担当

■ 地区会議の流れ

1
基本的情報
の説明



4
各グループ
からの
意見発表



■ 地区会議で出された意見について

西中島・十三野草地区 地区会議では参加者の皆様から多くのご意見をいただきました。すべてのご意見について事務局で対応を検討し、次回の下流域地域協議会に報告します。



Aグループの意見交換の結果



Bグループの意見交換の結果

【お問い合わせ先】

近畿地方整備局 淀川河川事務所 河川公園課
 〒573-1191 大阪府枚方市新町2丁目2番10号
 TEL:072-843-2861(代) FAX:072-843-0910 E-mail: yodogawa-kouen@kkr.mlit.go.jp

平成 23 年度 淀川河川公園 下流域地域協議会

西中島・十三野草地区 地区会議 平成 23 年 12 月 13 日開催分

平成 23 年度

淀川河川公園 大淀野草・海老江地区 地区会議 会議録

平成 23 年 11 月 9 日開催分

■地区会議とは

1. 目的

淀川河川公園の地区毎に、各公園地区の利用団体、地域住民、まちづくり団体など、様々な関係者の方々よりご意見を伺い、今後の公園の整備・維持管理に反映するため、淀川河川公園地区会議を開催しました。

2. 経緯

淀川河川公園では、淀川における自然環境や人との関わりを次世代に引き継ぐための公園づくりを目指し、「淀川河川公園基本計画」を平成 20 年に改定しました。

今後の公園づくりでは、地域に親しまれ、淀川と人とのつながりをより深めるため、地域住民、利用者、学識経験者、沿川自治体など様々な関係者が参加する「淀川河川公園地域協議会」を平成 22 年 3 月よりブロック毎に設置し、公園計画、整備及び管理の検討を進めています。

このたび、大阪府守口市域(庭窪河畔・八雲・八雲野草・守口・外島地区)及び大阪市域に位置する淀川河川公園及びその予定区域を対象とした淀川河川公園下流域地域協議会において、各公園地区に関する、より地域に密着したご意見を伺うため、「淀川河川公園地区会議」の開催を決定し、多様な主体に参加していただくためのメンバー候補を選定しました。

■大淀野草・海老江地区 地区会議の開催概要

淀川河川公園大淀野草・海老江地区において平成 23 年 11 月 9 日に地区会議を開催しました。

当日は 14 名の利用団体、地域住民等の方々にご参加いただきました。

開催日時:平成 23 年 11 月 9 日(水) 13:30~16:30 場所:海老江西コミュニティセンター

プログラム

1. 開会
 - ・地区会議の目的と進め方
 - ・淀川河川公園基本計画の概要
2. 公園歩き
3. 意見交換
 - ・グループ別意見交換
 - ・各グループからの発表
4. 今後の予定等
5. 閉会



大淀野草・海老江地区の概要

◆主な公園施設	◆運動施設の利用者数	
海老江地区	・野球場	63,470 人
・野球場	・テニスコート	4,521 人
・テニスコート	・サッカー・ラグビー場	10,369 人
・サッカー・ラグビー場	・陸上競技場	1,919 人
・陸上競技場	(※運動施設は内数)	
◆年間利用者数(H22 年度)		
地区別利用者数		
・大淀野草地区	57,052 人	
・海老江地区	358,179 人	
人数合計	415,231 人	

淀川のシジミ シジミの復活

淀川で獲れるシジミはヤマトシジミと同種とされ、普通のシジミよりも大きく、酒蒸しやオイル炒めなど、身を食べる料理にも使えます。殻の色が鼈甲色(べっこういろ)をしているのが特徴です。

鼈甲シジミは 40 代~50 代の人たちに人気があり、かつて自分たちが淀川で採ったことを懐かしんで買っていかれるそうです。

(出典:「淀川かわあるき」)

■ 地区会議の参加団体

利用団体等	団体名	
	地域住民	自治体
福島区ソフトボール連盟 堀川小学校障害学習ルーム環境学習講座 日本野鳥の会 大阪支部 淀川管内河川レンジャー 淀川自然観察会 大阪市コミュニティ協会 福島区支部協議会 大阪市立海老江東小学校 大阪市立海老江西小学校 大阪市立鷺洲小学校	大阪市西淀川区住民 大阪市福島区海老江東連合町会 大阪市福島区海老江西連合町会 大阪市福島区鷺洲連合振興町会	大阪市ゆとりとみどり振興局 緑化推進部計画課

■ 地区会議の流れ

1 基本的情報の説明



4 各グループからの意見発表



■ 地区会議で出された意見について

大淀野草・海老江地区 地区会議では参加者の皆様から多くのご意見をいただきました。すべてのご意見について事務局で対応を検討し、次回の下流域地域協議会に報告します。



Aグループの意見交換の結果



Bグループの意見交換の結果



Cグループの意見交換の結果

【お問い合わせ先】

近畿地方整備局 淀川河川事務所 河川公園課
 〒573-1191 大阪府枚方市新町2丁目2番10号
 TEL:072-843-2861(代) FAX:072-843-0910 E-mail: yodogawa-kouen@kkr.mlit.go.jp